

# 令和2年度 施策評価シート

## 第5次粕屋町総合計画の体系

まちづくりの目標 (施策の大綱)	基本目標3 誰もが安心して幸せに暮らせるやすらぎのまち			
	1 誰もが健康で暮らせるまちづくり			
施策名	(1) 健やかでいきいき暮らす健康づくりの推進			
施策コード	3-1-1	施策構成	7 事務事業	決算額 288,041 (千円)

## 目標／指標の達成度

基本計画に掲げる目標／指標			単位
①	実感指標	運動や食事など自分の健康に気をつけている町民の割合	%
②	客観指標	胃がん検診の受診率(健康づくり課)	%
③			
④			

アウトカム／成果目標の進行管理										
	当初値	28年度末	29年度末	30年度末	元年度末	2年度末	目標値	達成度	変更目標値	変更年度
①	64.8	79.8	78.3	78.1	78.8	—	↗	—		
②	20.7	19.8	19.8	17.7	17.9	13.4	35.0	0%		
③										
④										

## 施策における総括

前年度までの課題	<p>特定健診では、定期通院中の方や40～50代の健診未受診者が多く、更に個々に合わせた勧奨の工夫や、受けやすい健診の環境づくりが課題。また、生活改善や重症化予防を目的とした保健指導の強化を図る必要がある。健康意識の向上については、若い世代からの健康教育や啓発が重要であるため、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、様々な工夫を講じて実施していく必要がある。感染症予防では、引き続き新型コロナウイルス感染症に関する正しい情報の発信とともに、10月から開始のロタウイルス予防接種に向けて、わかりやすい周知を徹底する。</p>
今年度の取り組み(成果、効果)	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しながら健診事業を実施し、個別医療機関での受診勧奨やWeb予約の導入などにより、大幅な受診率の減少は抑えることができた。また、ロタウイルスを含む定期接種の啓発を行い新型コロナウイルス感染症による接種控えを防いだ。</p> <p>新型コロナウイルスワクチン接種事業では、全町民を対象とするため、全庁的な組織体制をつくり、令和2年度中に広報やコールセンターを設置し、接種に関する問合せなどの対応、また町内医療機関との協力体制を進めることができた。</p>
次年度以降に改善すべき課題	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、健診の受診控えによる健診受診率の低迷や疾患の重症化等が予想される。集団健診での感染予防対策の徹底はもちろんのこと、受診しやすい環境づくりや未受診者対策への取り組みを強化していく必要がある。</p> <p>新型コロナワクチン接種事業では、国からのワクチン供給量が不透明であるなかで、町内医療機関の協力だけでは十分な接種計画を立てることが難しく、問診医の確保が課題である。また全国的なワクチン接種の推進であるため、マイナンバーを活用したシステム等複数のシステムのデータ連携が不可欠であり、安全で適正なシステム管理が必要とされる。</p>

## 総合計画の進行管理

(1) 施策実現への取り組み		(2) 施策実現への進捗状況	
	①着実に取り組まれており評価できる。		①計画以上に進んでいる。
○	②取り組まれているが、まだ改善の余地がある。		②計画どおり順調に進んでいる。
	③取り組みが不十分であり対策が必要である。	○	③進んではいるが、スピードが遅い。
	④取り組みがなされていない。		④進捗が見られない、または後退している。